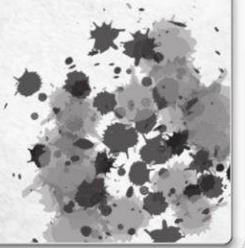




杉原千畝

～ 6000人の命を救った外交官 ～



時代背景

時代は第二次世界大戦頃。まさにこの戦争の渦中に入り、多くの命を救った日本人を紹介する。彼の名前は杉原千畝といい、「ちうね」と読む。海外の人には発音が難しく、音読みの「センポ」が愛称となることもあったそうだ。彼が活躍した1940年頃は、ドイツがポーランドを侵攻し、第二次世界大戦が勃発していた時代。この戦争では、ユダヤ人がドイツ([1])からの迫害を受けており、侵攻を受けたポーランドにも多くのユダヤ人が暮らしていた。彼は外交官としてポーランドに近い「リトアニア領事官」に勤めており、多くのユダヤ人が逃れてきたという。外交官として何をすべきか…葛藤した末に杉原が起こした行動とは。

偉人の生涯

杉原千畝 1900～1986 日本(岐阜) 外交官

Keyword 「東洋のシンドラ」 「命のビザ」 「イスラエル正義の人」



西 暦	年齢	生 涯
1900	0	岐阜県美濃市に誕生
		現在 [2] にある瑞陵高校の前身となっている、旧第五中学校を卒業
1918	18	医師になることを望んだ父に反抗し、大学入試を白紙で提出。弁当だけ食べて帰宅した。 英語を学びたかった彼は、親の反対を押し切り早稲田大学の英語科へ進学した。
1919	19	仕送りもなくアルバイトだけで学費を支払う極貧学生生活であったが、[3] によりアルバイト先が倒産。そこで偶然目にした外務省留学生試験に挑戦することに。 同年、外務省留学生に合格し、ロシア語を専攻。在学中にロシア語教師にも抜擢される。
1926	26	ロシア語のエキスパートとして、外務省内でも頭角を現す。正式に外交官の道へ。
1939	39	第二次世界大戦が勃発。ソ連やドイツにも近いリトアニア領事官へ赴任。 赴任後すぐの頃、ドイツがポーランドへの侵攻を始める。
1940	40	逃れてきたユダヤ人に対して、2139枚の「4」を発行。 このビザにより約6000人の命を救うことになった。
1947	47	帰国後、日本政府の命令に反したとして、外交官をクビになる。
1968	68	イスラエル大使館から招かれ、杉原によって救われた人々と再会を果たす。
1985	85	イスラエル「諸国民の中の正義の人」受賞 ※日本人では杉原1人のみ
1986	86	死去



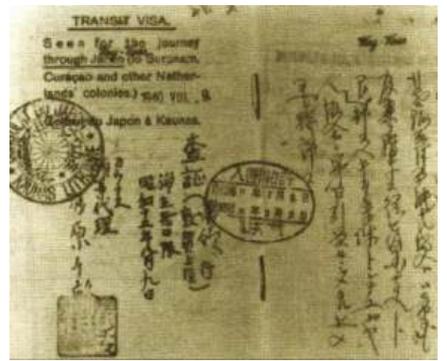
偉人の功績・思想

★杉原式暗記術 「みんなも英単語帳を破り捨てよう!!」

杉原は奨学金を受け取り留学できる「官費留学制度」に合格し、中国のハルビン学院に入学している。この時点でも優秀なのは明らかだが、彼の凄さはそこから。本来スペイン語を学ぶつもりで留学したものの、ロシア語を使える人数が少ないという理由で、当時マイナーであったロシア語の専攻を決断する。常人離れした勉強法で力をつけていった。その方法は、露和辞典を半分に割り、常に両ポケットに入れておく。暇があれば、辞書のページを破り、その内容を暗記できたらゴミにして破り捨てるというものであった。一度覚えたら見返すことはないという自信の表れか…普通の人ではできないでしょう。

結果、彼は驚異的なスピードでロシア語を習得し、最終的にはハルビン学院のロシア語教師にまで抜擢されている。

★命のビザ



彼が赴任したリトアニアの近くに、ポーランドという国があり、多くのユダヤ人が暮らした。しかし、ドイツナチスによる迫害の影響で、彼らはリトアニアへ逃れていくこととなる。その中で、なぜ日本の領事館に集まったかという点、ドイツナチスから逃れるためには、シベリア鉄道でソ連を横断し、日本を経由するルートが唯一残された脱出ルートだったから。このルートを通るには日本への入国ビザが必須であり、その発行を願う人々が押し寄せていたということなんだ。彼は発行をしてよいか、日本政府へ確認をしたが返事はNO。

同盟国であるドイツの顔色を窺っていたことや、避難先が決まっていない場合は発行できない決まりとなっているという事務的な理由であった。ルールだからダメというのが、いかにも融通の利かない日本らしいところだ。

彼もさすがに政府には歯向かえないということで、一旦諦めたが、間近で助けを求める人々を見ながら大きな葛藤に苦しんだ。何度も政府に掛け合っても、答えは変わらず。それでも葛藤し、2日間悩んだ末に彼はついに独断での発行を決意。出した答えは「人として正しいことをしよう」というシンプルなものであった。

千

ここで外交官としての自分を貫けば、ユダヤ人は死んでしまう。
人としての自分を貫けば、日本に背くことになる。
私は人として生きていたいんだ。人として生きることの何が悪い。
私は命を狙われるかもしれない。危険だから子どもと逃げてくれ。

いいえ、帰りません。私にとって一番大切なのは、あなたのそばに
いることです。人として一番大切なことをしてください。
あなたしか、あの方々の命は救えないのですよ。



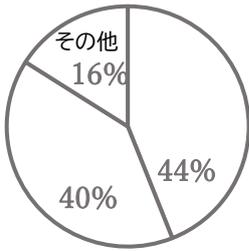
翌日から怒涛の勢いでビザを書き続ける。当時はパソコンもなく、ビザは全て手書き。寝る間も惜しんで書き続けたビザは合計で 2139 枚。一世帯一枚という仕組みだったため、約 6000 人の人がこのビザにより逃げる事ができた。彼の功績は現代においても多くのユダヤ人に受け継がれており、ユダヤ人を救った「イスラエル正義の人」という賞を、日本で唯一受賞している。さらに、彼が救った子孫が多く暮らす街には「スギハラ・ストリート」という道路が建設されている。

さらに彼の功績が現在に繋がるエピソードが、東日本大震災の発生時。被災地にどの国よりも早く日本へ医療チームを派遣してくれたのが、ユダヤ人の国「⁵」であった。「杉原への恩を返すため」という思いで国が動いてくれたということ。彼のしたことが、どれだけ日本とユダヤ人にとって大きな財産を残したかがわかる。

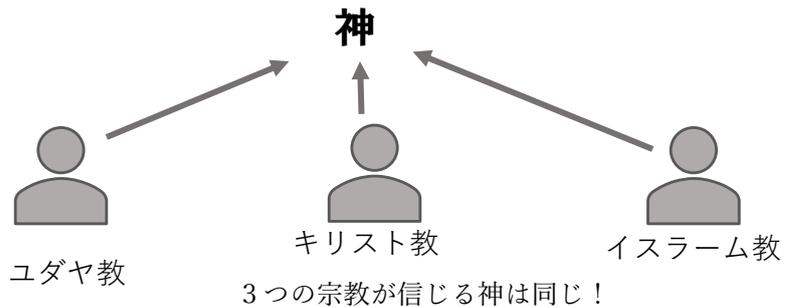
偉人から学ぶこと

★ユダヤ人とは？ ユダヤ人について知り、現在の問題との繋がりを学ぼう。

☑ ユダヤ人 = 唯一神⁶]を信じるユダヤ教の信者や、母がユダヤ人である人たち



Data ユダヤ人の居住国



☑ なぜ古代より迫害を受けてきたのか？

迫害の背景

- (1) 自分たちの神が絶対！他の宗教は認めないという強い思い。→ 他宗教からの反感
- (2) 金持ちが多く、質の高い生活を送っている人が多い。→ 嫉妬の対象に
- (3) イエス・キリストを処刑した民族 → キリスト教徒からの憎しみ

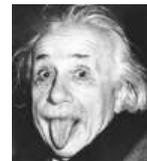
↓

20世紀 ロシアからの集団迫害行為
 WW2時 ドイツナチスからの集団虐殺(=⁷)

- ・ 19世紀末ごろ～ ⁸]運動の高まり…「自分たちの国をつくろう！約束の地へ帰ろう！」
 - ・ 1947年 パレスチナの約半分を分割することに決定 → 1948年 ⁹]の建国
- これにパレスチナは反発し、中東戦争が勃発…現在まで繋がる長い戦いが始まっていくことに。

TOPIC 世界で活躍するユダヤ人

ユダヤ人の中には、優秀な人材や資金力が豊富な人が多いことで有名。



背景 国を追われ土地を持てなかった。また、キリスト教文化では当時さげすまれていた職業があった。
 → 土地が無くてもでき、誰もやりたがらなかった¹⁰]に尽力し成功を納める。

ユダヤ教のストイックな生活規範や、迫害を受けながら生きてきた根性も合わさり、世界で活躍する著名人や、アメリカの政治経済を牽引する役職につく人を多く輩出しています。また、低級な娯楽とされていた映画業界に従事し、ⁱFOX や ⁱⁱワーナーブラザーズといった会社を設立。ハリウッドを世界に知らしめたのもユダヤ人の功績が大きい。 ⁱ→アバター・タイタニック・スターウォーズ ⁱⁱ→ハリーポッター・トムとジェリー

主な著名人

- ・ ¹¹]：相対性理論で有名な 20 世紀最大の科学者
- ・ ¹²]：Calvin Klein の創始者兼デザイナー
- ・ ¹³]：映画監督で、ジョーズ、ET、ジュラシックパークなどの生みの親
- ・ ¹⁴]：Google 創始者

★イスラエルとパレスチナ

	<p>イスラエル</p> <p>[]人</p> <p>[]教</p> 	<p>パレスチナ</p> <p>[]人</p> <p>[]教</p> 
1947	<p>国連にて半数以上の土地を受け取る決定</p>    	<p>この決定を不服として反発</p> <p>→ 第一次中東戦争の勃発</p> <p>特に聖地^[15]はユダヤ教(嘆きの壁)の他にもイスラーム教(岩のドーム)キリスト教(聖墳墓教会)の聖地が集中する場所であり、この地域をめぐる争いが激化</p>
1960年代	<p>アメリカの援助を受け</p> <p>軍事力で圧倒 → 多くの土地を奪う</p>	<p>数回に及ぶ中東戦争</p> <p>戦争に敗れたパレスチナ人はほとんどの土地を失い難民となる</p> <p>→ 行き場のない憎しみはテロ行為の正当化へ</p>
	<p>テロの勃発や民衆の反乱が起こるも</p> <p>イスラエル軍がと武力で制圧</p>	<p>ハマス・アルカイダなどの過激派テロ組織</p> <p>↓</p> <p>現在ガザ地区を統治</p>
2001	<p>ビンラディンを匿っているとして</p> <p>アメリカがアフガニスタンに報復攻撃</p> <p>イスラエルも便乗してパレスチナを攻撃</p>	<p>憎しみの矛先をアメリカへ向け、ビンラディンを中心にアメリカ同時多発テロを実行</p> <p>⇨ イスラエルの攻撃に対し自爆テロで対抗</p>
2023	<p>イスラエルが激しい空襲で応戦</p> <p>1週間で4000人規模の死者を出す</p>	<p>⇨ ハマスがイスラエルへ奇襲攻撃</p>

このように、両者の血を血で洗うような憎しみの連鎖が長年にわたり続いているのが、パレスチナ問題。宗教の違い、アメリカやイスラーム諸国といった大国の参加、過去の迫害の歴史など、争いの火種が非常に多く簡単に解決できるような問題ではないかもしれない。しかし、現在ガザ地区には狭い地域でライフラインの不十分な環境にもかかわらず、多くのパレスチナ人たちが暮らしている。毎日生きることに精いっぱい、戦争の恐怖にも怯えながら過ごしている子どもたちがいる。杉原のように、目の前の命を最優先に考え、人として正しいことをするという事に立ち返らなければいけない。でないと、この負の連鎖は止まることがない。

“世界は大きな車輪のようなものですから。対立したり争ったりせずに、みんなで手をつなぎ合って、回っていかねばなりません”

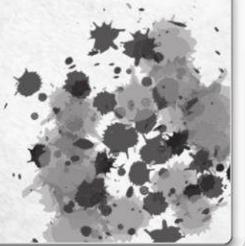
“正しいことをしよう。正しいのだから。”





杉原千畝

~ 6000人の命を救った外交官 ~



時代背景

時代は第二次世界大戦頃。まさにこの戦争の渦中に入り、多くの命を救った日本人を紹介する。

彼の名前は杉原千畝といい、「ちうね」と読む。海外の人には発音が難しく、音読みの「センポ」が愛称となることもあったそうだ。彼が活躍した1940年頃は、ドイツがポーランドを侵攻し、第二次世界大戦が勃発していた時代。この戦争では、ユダヤ人がドイツ([¹ ナチス])からの迫害を受けており、侵攻を受けたポーランドにも多くのユダヤ人が暮らしていた。彼は外交官としてポーランドに近い「リトアニア領事官」に勤めており、多くのユダヤ人が逃れてきたという。外交官として何をすべきか…葛藤した末に杉原が起こした行動とは。

偉人の生涯

杉原千畝 1900~1986 日本(岐阜) 外交官

Keyword 「東洋のシンドラ」 「命のビザ」 「イスラエル正義の人」



西 暦	年齢	生 涯
1900	0	岐阜県美濃市に誕生
		現在 [² 名古屋市]にある瑞陵高校の前身となっている、旧第五中学校を卒業
1918	18	医師になることを望んだ父に反抗し、大学入試を白紙で提出。弁当だけ食べて帰宅した。 英語を学びたかった彼は、親の反対を押し切り早稲田大学の英語科へ進学した。
1919	19	仕送りもなくアルバイトだけで学費を支払う極貧学生生活であったが、 [³ 米騒動]によりアルバイト先が倒産。そこで偶然目にした外務省留学生試験に挑戦することに。 同年、外務省留学生に合格し、ロシア語を専攻。在学中にロシア語教師にも抜擢される。
1926	26	ロシア語のエキスパートとして、外務省内でも頭角を現す。正式に外交官の道へ。
1939	39	第二次世界大戦が勃発。ソ連やドイツにも近いリトアニア領事官へ赴任。 赴任後すぐの頃、ドイツがポーランドへの侵攻を始める。
1940	40	逃れてきたユダヤ人に対して、2139枚の「 ⁴ 命のビザ 」を発行。 このビザにより約6000人の命を救うことになった。
1947	47	帰国後、日本政府の命令に反したとして、外交官をクビになる。
1968	68	イスラエル大使館から招かれ、杉原によって救われた人々と再会を果たす。
1985	85	イスラエル「諸国民の中の正義の人」受賞 ※日本人では杉原1人のみ
1986	86	死去



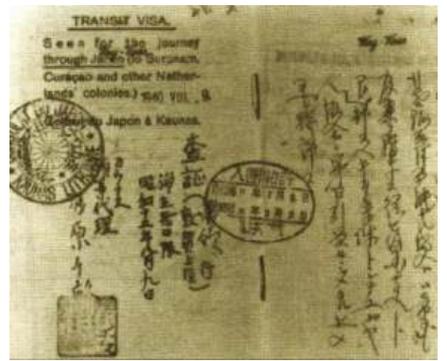
偉人の功績・思想

★杉原式暗記術 「みんなも英単語帳を破り捨てよう!!」

杉原は奨学金を受け取り留学できる「官費留学制度」に合格し、中国のハルビン学院に入学している。この時点でも優秀なのは明らかだが、彼の凄さはそこから。本来スペイン語を学ぶつもりで留学したものの、ロシア語を使える人数が少ないという理由で、当時マイナーであったロシア語の専攻を決断する。常人離れした勉強法で力をつけていった。その方法は、露和辞典を半分に割り、常に両ポケットに入れておく。暇があれば、辞書のページを破り、その内容を暗記できたらゴミにして破り捨てるというものであった。一度覚えたから見返すことはないという自信の表れか…普通の人ではできないでしょう。

結果、彼は驚異的なスピードでロシア語を習得し、最終的にはハルビン学院のロシア語教師にまで抜擢されている。

★命のビザ



彼が赴任したリトアニアの近くに、ポーランドという国があり、多くのユダヤ人が暮らした。しかし、ドイツナチスによる迫害の影響で、彼らはリトアニアへ逃れていくこととなる。その中で、なぜ日本の領事館に集まったかという点、ドイツナチスから逃れるためには、シベリア鉄道でソ連を横断し、日本を経由するルートが唯一残された脱出ルートだったから。このルートを通るには日本への入国ビザが必須であり、その発行を願う人々が押し寄せていたということなんだ。彼は発行をしてよいか、日本政府へ確認をしたが返事はNO。同盟国であるドイツの顔色を窺っていたことや、避難先が決まっていない場合は発行できない決まりとなっているという事務的な理由であった。ルールだからダメというのが、いかにも融通の利かない日本らしいところだ。

彼もさすがに政府には歯向かえないということで、一旦諦めたが、間近で助けを求める人々を見ながら大きな葛藤に苦しんだ。何度も政府に掛け合っても、答えは変わらず。それでも葛藤し、2日間悩んだ末に彼はついに独断での発行を決意。出した答えは「人として正しいことをしよう」というシンプルなものであった。

千

ここで外交官としての自分を貫けば、ユダヤ人は死んでしまう。
人としての自分を貫けば、日本に背くことになる。
私は人として生きていたいんだ。人として生きることの何が悪い。
私は命を狙われるかもしれない。危険だから子どもと逃げてくれ。

いいえ、帰りません。私にとって一番大切なのは、あなたのそばに
いることです。人として一番大切なことをしてください。
あなたしか、あの方々の命は救えないのですよ。



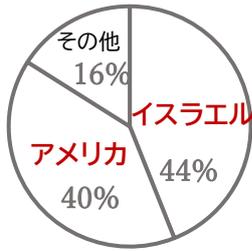
翌日から怒涛の勢いでビザを書き続ける。当時はパソコンもなく、ビザは全て手書き。寝る間も惜しんで書き続けたビザは合計で 2139 枚。一世帯一枚という仕組みだったため、約 6000 人の人がこのビザにより逃げる事ができた。彼の功績は現代においても多くのユダヤ人に受け継がれており、ユダヤ人を救った「イスラエル正義の人」という賞を、日本で唯一受賞している。さらに、彼が救った子孫が多く暮らす街には「スギハラ・ストリート」という道路が建設されている。

さらに彼の功績が現在に繋がるエピソードが、東日本大震災の発生時。被災地にどの国よりも早く日本へ医療チームを派遣してくれたのが、ユダヤ人の国「**イスラエル**」であった。「杉原への恩を返すため」という思いで国が動いてくれたということ。彼のしたことが、どれだけ日本とユダヤ人にとって大きな財産を残したかがわかる。

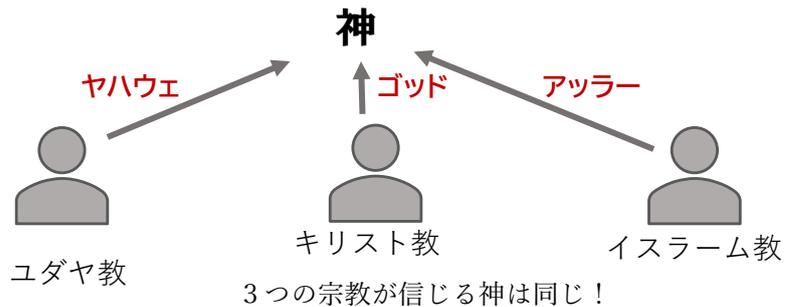
偉人から学ぶこと

★ユダヤ人とは？ ユダヤ人について知り、現在の問題との繋がりを学ぼう。

☑ ユダヤ人 = 唯一神^[6] **ヤハウェ**]を信じるユダヤ教の信者や、母がユダヤ人である人たち



Data ユダヤ人の居住国



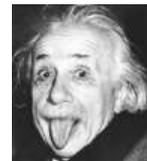
☑ なぜ古代より迫害を受けてきたのか？

- 迫害の背景
- (1) 自分たちの神が絶対！他の宗教は認めないという強い思い。→ 他宗教からの反感
 - (2) 金持ちが多く、質の高い生活を送っている人が多い。→ 嫉妬の対象に
 - (3) イエス・キリストを処刑した民族 → キリスト教徒からの憎しみ
- ↓
- 20世紀 ロシアからの集団迫害行為
- WW2時 ドイツナチスからの集団虐殺(=^[7] **ホロコースト**)

- ・19世紀末ごろ～ ^[8] **シオニズム**]運動の高まり…「自分たちの国をつくろう！約束の地へ帰ろう！」
 - ・1947年 パレスチナの約半分を分割することに決定 → 1948年 ^[9] **イスラエル**]の建国
- これにパレスチナは反発し、中東戦争が勃発…現在まで繋がる長い戦いが始まっていくことに。

TOPIC、世界で活躍するユダヤ人

ユダヤ人の中には、優秀な人材や資金力が豊富な人が多いことで有名。



背景 国を追われ土地を持てなかった。また、キリスト教文化では当時さげすまれていた職業があった。
→ 土地が無くてもでき、誰もやりたがらなかった^[10] **金融業**]に尽力し成功を納める。

ユダヤ教のストイックな生活規範や、迫害を受けながら生きてきた根性も合わさり、世界で活躍する著名人や、アメリカの政治経済を牽引する役職につく人を多く輩出しています。また、低級な娯楽とされていた映画業界に従事し、ⁱ **FOX** や ⁱⁱ **ワーナーブラザーズ** といった会社を設立。ハリウッドを世界に知らしめたのもユダヤ人の功績が大きい。
ⁱ → アバター・タイタニック・スターウォーズ
ⁱⁱ → ハリーポッター・トムとジェリー

主な著名人

- ・^[11] **アインシュタイン**]：相対性理論で有名な20世紀最大の科学者
- ・^[12] **カルバン・クライン**]：Calvin Kleinの創始者兼デザイナー
- ・^[13] **スティーブン・スピルバーグ**]：映画監督で、ジョーズ、ET、ジュラシックパークなどの生みの親
- ・^[14] **ラリー・ページ**]：Google創始者

★イスラエルとパレスチナ

	<p>イスラエル</p> <p>[ユダヤ]人</p> <p>[ユダヤ]教</p> 	<p>パレスチナ</p> <p>[アラブ]人</p> <p>[イスラム]教</p> 
1947	<p>国連にて半数以上の土地を受け取る決定</p>    	<p>この決定を不服として反発</p> <p>→ 第一次中東戦争の勃発</p> <p>特に聖地^[15] エルサレム はユダヤ教(嘆きの壁)の他にもイスラーム教(岩のドーム)キリスト教(聖墳墓教会)の聖地が集中する場所であり、この地域をめぐる争いが激化</p>
1960年代	<p>アメリカの援助を受け</p> <p>軍事力で圧倒 → 多くの土地を奪う</p>	<p>数回に及ぶ中東戦争</p> <p>戦争に敗れたパレスチナ人はほとんどの土地を失い難民となる</p> <p>→ 行き場のない憎しみはテロ行為の正当化へ</p>
	<p>テロの勃発や民衆の反乱が起こるも</p> <p>イスラエル軍がと武力で制圧</p>	<p>ハマス・アルカイダなどの過激派テロ組織</p> <p>↓</p> <p>現在ガザ地区を統治</p>
2001	<p>ビンラディンを匿っているとして</p> <p>アメリカがアフガニスタンに報復攻撃</p> <p>イスラエルも便乗してパレスチナを攻撃</p>	<p>憎しみの矛先をアメリカへ向け、ビンラディンを中心にアメリカ同時多発テロを実行</p> <p>⇨ イスラエルの攻撃に対し自爆テロで対抗</p>
2023	<p>イスラエルが激しい空襲で応戦</p> <p>1週間で4000人規模の死者を出す</p>	<p>⇨ ハマスがイスラエルへ奇襲攻撃</p>

このように、両者の血を血で洗うような憎しみの連鎖が長年にわたり続いているのが、パレスチナ問題。宗教の違い、アメリカやイスラーム諸国といった大国の参加、過去の迫害の歴史など、争いの火種が非常に多く簡単に解決できるような問題ではないかもしれない。しかし、現在ガザ地区には狭い地域でライフラインの不十分な環境にもかかわらず、多くのパレスチナ人たちが暮らしている。毎日生きることに精いっぱい、戦争の恐怖にも怯えながら過ごしている子どもたちがいる。杉原のように、目の前の命を最優先に考え、人として正しいことをするという事に立ち返らなければいけない。でないと、この負の連鎖は止まることがない。

“世界は大きな車輪のようなものですから。対立したり争ったりせずに、みんなで手をつなぎ合って、回っていかねばなりません”

“正しいことをしよう。正しいのだから。”

